

令和元年(2019年)11月 水産物部 主要品目の市況

種類	品目	市況の概要	2019年11月 数量(トン)	2019年11月 平均単価 (円)	前年同月比 (数量)	前年同月比 (平均単価)
生鮮	まぐろ (本まぐろ)	天然物が少なく、メキシコ産等の蓄養物が中心でした。全体の取扱数量はかなり減少、平均単価は前年並みでした。	10	2,952	78%	102%
	めばち	取扱数量は前年と比べ増加しましたが、高値が付く魚が少なく、平均単価はやや下がりました。	8	1,640	116%	92%
	はまち	鹿児島・愛媛中心の入荷で、取扱数量は前年並み、平均単価は前年に比べやや下がりました。	40	1,291	98%	87%
	あじ	九州中心の入荷で、前年と比べ、取扱数量はかなり減少、平均単価はかなり上がりました。	47	580	65%	136%
	いか	青森・北海道中心の入荷でしたが、取扱数量はかなり減少、平均単価は上がりました。	33	934	68%	116%
	さば	三陸・房州中心で、前年と比べ、取扱数量はかなり減少、平均単価はかなり上がりました。	33	556	62%	136%
冷凍	めばち	前年に比べ、取扱数量はやや減少、平均単価もやや下がりました。	53	1,280	93%	96%
	いか	青森が中心でしたが、水揚げ少なく浜値も高止まりでした。前年と比べ、取扱数量はかなり減少、平均単価はかなり上がりました。	12	1,273	61%	127%
	さけます	前年と比べ、取扱数量はかなり減少、平均単価はやや上がりました。	25	1,136	60%	105%
加工	さけます	トラウト製品が品薄のため、前年と比べ、取扱数量は大幅に減少、平均単価も下がりました。	24	973	32%	85%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上